

名取市

議会だより

発行：宮城県名取市議会

議長に 大友 廣嗣

副議長に 相澤 雅

議会運営委員会委員、常任委員会委員の任期満了に伴う、新たな委員の選任を行うため、平成十八年名取市議会第二回臨時会が、一月一日に開かれました。

最初に正・副議長から辞職願いが出されたことに伴い、後任者を決めるための正・副議長選挙が行われました。その結果、議長に大友廣嗣議員、副議長には相澤 雅議員が当選しました。

次いで、議会運営委員会、各常任委員会の委員を選任。正・副委員長長の互選を行い、同日閉会しました。

公正を旨とし 円満な議会運営と 市民福祉の向上をめざして



議長 大友 廣嗣



副議長 相澤 雅

このたびの臨時議会におきまして、議長並びに副議長の重責を担うことになりましたことは誠に身に余る光栄であり、その任の重さに身の引きしまる思いであります。

四次長期総合計画「が着々と進行中であります。特に、平成十八年度末開通を目標とした仙台空港アクセス鉄道の沿線に広がる臨空の新しいまちづくり事業が形となって現れるにつれ名取市の更なる飛躍を確信するものであります。

このような中で、議会においては多様な民意の反映、住民の意見の集約などの役割が求められております。また、議会の構成や運営においても、議会の意思と住民の意思が乖離しないよう努力が以前にもまして必要とされてきております。いままでも議会は、請願や陳情の調査を通じて市政全般にわたり執行機関(市長等)に提言し、一定の役割を果たしてきましたが、厳しい財政状況の折、ますますこの議会提言のあり方が問われてきております。

議会と執行機関は車の両輪に例えられます。議会がいたずらに摩擦を起こす様なことは避けなければなりません。安易な妥協に陥ることがあってもいけません。今後も議会の立場で政策提言を行い、公平・公正な市政の実現を求めてまいります。私たちはもとより浅学非才であります。議会の機能を十分に発揮できるよう不偏不党、公平無私の立場から、常に市民の視線にたち、円満で開かれた議会運営を目指します。六万八千余の市民の負託に応えられるよう鋭意努力してまいりますので、今後ともより一層の皆様のご指導をお願い申し上げます。

正・副議長選の 投票結果

正・副議長選挙は、単記無記名による投票で行いました。開票の結果は、次のとおりです。

〔議長選挙〕	
投票総数	二十四票
有効投票数	二十四票
無効投票数	〇票
得票数	
大友廣嗣議員	二十四票
〔副議長選挙〕	
投票総数	二十四票
有効投票数	二十二票
無効投票数	二票
得票数	
相澤 雅議員	二十二票

委員会の構成

議会運営委員会

委員長 佐藤賢祐
副委員長 渡邊武祐
委員 相澤祐司、丹野政喜、橋浦正人、山居敬子、星居隆子

総務財政 常任委員会

委員長 星居敬子
副委員長 沼田喜一郎
委員 高橋史光、郷内良治、渡邊栄希、今野栄希

建設水道 常任委員会

委員長 丹野政喜
副委員長 山口實
委員 高山和夫、高橋和夫、山田龍太郎、本田隆雅

経済教育 常任委員会

委員長 相澤祐司
副委員長 菊地忍
委員 小野美穂、高橋久吉、森屋東藏、大友廣嗣

民生福祉 常任委員会

委員長 太田稔人
副委員長 橋浦正浩
委員 本郷一浩、佐藤賢祐、渡邊至男、下山博嗣

議会広報 特別委員会

委員長 郷内良治
副委員長 本郷一浩
委員 菊地忍、高橋史光、沼田喜一郎、小野美穂、丹野政喜、橋浦正人

本会議場の配置と議席



(傍聴席)

平成18年2月1日現在(届出順)

会派の構成

印は、会派の代表者

青雲なとり	日本共産党	創政会	市政クラブ	名翔クラブ	公明名取
佐山郷	本小野寺	大下丹太	相渡今橋相	森高渡山本高沼	星菊
藤田内	田隆美	友山野田橋	澤辺野浦澤	屋橋邊口郷橋田	居地
賢龍良	隆美	廣博政稔史	至栄正祐	東久一和喜一	敬
祐太郎	子穂	嗣嗣喜郎光	雅男希人司	藏吉武實浩夫郎	子忍